

「ほたる」意見交換会アンケート結果

参加者27名 アンケート依頼25名 アンケート協力者数21名

H24.2.22現在

1、講演を聞いて「ほたる」の業務、役割について理解できましたか？

理解できた	8
大体理解できた	12
理解できなかった	1
合計	21

* 理解できなかったこと…業務が幅広く理念は分かりますが、具体的に在宅医療を続けるために(悪化して胃ろうや認知が進行しないよう)地域のお医者さんとう連携していくのかどうなのかイメージがつかめませんでした。

2、「ほたる」に期待することは何ですか？(複数回答可)

●多職種が一堂に会する、スキルアップのための研修会開催…13

●在宅医療の講習…9

(何をテーマとしてほしいか)

- * 看取り
- * 末期がん、在宅酸素、褥瘡治療
- * 医療機関の裾野の拡大
- * 重度化しないために、地域のお医者さんの上手なかかり方
- * 老人性うつ
- * 褥瘡を作らない方法、出来てからの対応

●相談窓口業務…5

(どんなことを相談したいか)

- * 往診可能な診療所(時間等の詳細)など
- * 医療機関との連携の悩み、在宅医療支援に係る全般の相談

●在宅医療を受ける患者の相談窓口機能…13

●ショートステイの空床情報提供と管理…14

- * 透析のケースに非常に困った経験あります。

●地域資源調査…4

(どんな情報がほしいか)

- * 地域独自のサービスと協力者
- * 介護保険外のサービス、インフォーマルサービス
- * 地域の資源とは、どういうものがあるのか知らないことが多々あると思うので情報が欲しい。

●在宅医療を理解してもらえるよう市民への周知…7

(具体的に)

- * 胃瘻、HOT、留置カテーテル等があっても在宅は可能であること
- * 公民館などでの講演会
- * 在宅医療を理解してもらったとしても、在宅で介護する介護者の心のケアまで出来る様だとすばらしいなと思いました。
- * 在宅医療のメリット、社会資源の活用、在宅医療の山形県の現状と理解
- * 多職種連携によるサービス内容と患者・家族を支える仕組み
- * 家族は医師の意見を尊重しています。在宅で頑張れるよう、医療の側からの励ましや、医療依存が少しでも防げるような体制があればと思います。

●その他…3

- * 利用者、家族の本音が聞けるように(伝わる様に)ある一定の職種にしか伝わらない事がある為。
- * 医療、介護保険改正、動向等の最新情報について要点を分かりやすく提供

3、日常業務の中で、多職種連携に関する事で困ったことは何ですか？（複数回答可）

* 医師との連絡がとりづらい	12
* 歯科の窓口が分からない	0
* 栄養に関する窓口が分からない	1
* 薬局に関する窓口が分からない	2
* その他	2

- * 同じ病院でも窓口が違うので前に聞いたか忘れる
- * 病院と、医療サービス事業所の治療方針の違いに戸惑う
- * 医療密度の高い困難ケースの対応

4、講演を聞いて、「Net4U」について理解できましたか？

理解できた	19
理解できなかった	0
無回答	2
合計	21

5、その他、「ほたる」や「Net4U」に対する意見や要望等など何でもご自由に記入下さい。

（Net4Uについて）

- * 訪問看護を利用していなくても、Net4Uを使えるようにして欲しい（訪問看護がなくても、医師と連携する必要があるの。）
- * 主治医との照会対応について、一部の医師から利用者と一緒に受診する旨の通知がありました。一緒に同行して話を聞いて、プランを作成し、それに対して意見を戴くのに、また利用者と同行しなければいけないのでは、時間や利用者の負担が大きいのではないのでしょうか？プランを持参し受診した場合、すぐその場で照会して下さるのでしょうか？
- * Net4Uについては、以前より必要性を感じておりました。事業所としては、どんどん利用していくように伝えております。逆に開業医さんへの理解と利用拡大をほたるより発信して頂けたらありがたいと思います。
- * 当院では既にNet4Uは活用しているため、一部の職員では抵抗はありませんが、医師や現場の多忙を考えると入力等負担はかかります。ただ在宅医療では、多職種の連携が大変重要となるだろうと理解しておりますので、それを考えれば大変便利なシステムなんだろうと思っています。今回意見交換会の後、在宅支援室のメンバーには、その旨は伝えましたし、トップは導入は当然と考えていますが、現場の抵抗があるようです。
- * 新年度以降になりますが、Net4Uの利用にむけて検討しております。どうぞよろしくお願いいたします。
- * Net4Uへの加入状況（医師）が全医師、医院となっていないと伺いました。今後の加入はどのようなのでしょうか。一部の医師との連携が困難なことも多少あります。
- * 医師側のNet4Uの利用率を高めて欲しい。
- * Net4U多くの医師に加入してほしい
- * Net4U、医師会へベニューザーは一割程度と伺っています。福祉分野に広めることも大事ですが、医師によって介護保険に対する大きな温度差を感じます。

（ほたる・会について）

- * 地域連携に於いて、他県には見られない程のスキルとモチベーションで、どう生活を支援できるかを考える場として、今後も重要な立ち位置になると存じます。情報交換しながら、社会資源として有効に力を発揮できることを一緒に作っていかれたらと思います。
- * 意見交換会について、行政・医療職・医師の意見等聞けて非常に良かったです。
- * 療養の場として当然のように在宅が選択肢の一つと考えられる地域の実現に向けて、「ほたる」が十分に機能を発揮することを期待します。
- * まだ医療（特に医師）に対しては敷居が高く、意見が言いにくい雰囲気があります。担当者会議にも（お忙しいとは思いますが）先生方とご同席していただき、在宅の話をする機会が多くなると良いと思います。
- * 医療密度の高い、医療管理が必要な方の施設受け入れができるようお願いしたい。